JAIST Repository
https://dspace.jaist.ac.jp/

Title	アイデア生産量の低下を軽減させるテーマ変換発想技法に関する研究
Author(s)	小野寺，貴俊
Citation	
Issue Date	2019-03
Type	Thesis or Dissertation
Text version	author
URL	http://hdl.handle.net/10119/15808
Rights	
Description	Supervisor:西本一志，先端科学技術研究科，修士（知識科学）

JAIST
JAPAN
ADVANCED INSTITUTE OF
SCIENCE AND TECHNOLOGY

Japan Advanced Institute of Science and Technology

本研究では、発想技法の一種である発散技法について、既存技法においてほとんど注目されず、今まで誰も解決すべき問題として採り上げようとしてこなかった、時間経過に伴うアイデア生産量の低下現象に着目し、この現象を引き起こさず、しかも既存技法よりもアイデアの生産量が多くなると期待される新規な発散技法である"TKTS 法"を提案する。

また、本提案技法の詳細を説明し、現段階で有効と考えられる関連テーマの分割手法について記述した後、TKTS 法を既存技法と比較するユーザスタディに実施について、その結果を記載する。結果として、TKTS 法により、アイデア生産量の低下現象を回避できることが示唆された。

TKTS 法は，アイデア生成の対象となる主テーマを、関連するいくつかの関連テーマに分割し、これら関連テーマを短時間で切り替えながらアイデア生成を行う手法である。そのため、他の発想技法と併用できる点が大きな強みでもあり、TKTS 法が実用化されれば、企画会議などの実用現場で長時間の発想を行う際に、既存の発想技法よりも多くのアイデアを生み出せる技法となることが期待される。